



平成 27 年 2 月 6 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 博 展  
 (コード番号：2173 東証 J A S D A Q)  
 本 社 所 在 地 東 京 都 中 央 区 築 地 一 丁 目 13 番 14 号  
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 田 口 徳 久  
 問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 玉 井 昭  
 電 話 番 号 0 3 ( 6 2 7 8 ) 0 0 1 0

個別業績予想の修正及び  
 連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 2 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期通期の個別業績予想の修正、及び、平成 27 年 3 月期第 4 四半期より連結決算へ移行いたしますので平成 27 年 3 月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 27 年 3 月期通期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,500	330	308	183	52 円 62 銭
今回修正予想 (B)	6,100	75	69	34	9 円 58 銭
増減額 (B-A)	△400	△255	△239	△149	—
増減率 (%)	△6.2	△77.3	△77.6	△81.4	—
(ご参考) 前期実績	5,604	272	267	164	47 円 81 銭

## 2. 個別業績予想の修正理由について

期初に発表しました中期ビジョン「Be a PARTNER of EXPERIENCE MARKETING」(感動価値、経験価値を提供するマーケティングパートナーになる)の実現に向け、新たな収益の柱とすべく鋭意取り組んでおります新規 3 事業「コンファレンス&コンベンションサービス」、「商環境サービス」並びに「デジタルマーケティングサービス」については、専門性の高い人材の採用を行う等事業基盤の拡充に注力した結果、概ね計画通り進捗しております。

しかしながら、当社の主力事業であるイベント・展示会への出展及び主催サービスにつきましては、緩やかな回復基調にはあるものの、依然として足取りの重い日本経済の影響を受け、クライアント企業のイベント出展・主催計画の取り止め、規模縮小等の影響もあり、通期売上高は予想を下回る見込みとなりました。また、利益面におきましては、売上減少に伴う収益の低下とともに、中期ビジョン実現のため取り組んでいる戦略的なチャレンジ案件である、大型販促・屋外イベントや全国キャラバン、デジタルマーケティング&プロモーション等、新たな取り組みに着手した結果、通期売上高に占める戦略的

# NEWS RELEASE

チャレンジ案件の比率が当初見込みよりも大きく成長したため、外注原価率の上昇に伴う利益率の低下等が想定を超え、通期売上総利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

この結果、各事業基盤拡充のために必要な人材補強費、M&A 関連費用等、成長基盤整備のために投じた販売費及び一般管理費の増加分を当期中には吸収しきれない見込みとなったため、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

今後は収益基盤の確立している従来型のイベント出展・主催案件と戦略案件とのバランスを考慮しつつ、外注管理体制の整備、プロジェクトマネジメントの強化等を図り、収益性を一層向上させてまいります。

なお、配当予想につきましては前回予想（期末 14 円）から変更しておりません。

### 3. 連結決算への移行について

当社は、平成 27 年 1 月 15 日付で平成 25 年 7 月より資本業務提携を行っておりました株式会社アイアクトの株式を追加取得し、子会社化いたしました。

これに伴い、平成 27 年 3 月期第 4 四半期決算より連結決算へ移行いたします。

### 4. 連結決算開始に伴う連結業績予想について

平成 27 年 3 月期通期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）連結業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
通 期	6,270	75	69	37	10 円 43 銭

今回の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上